

解答

□

問一 ① 利他 ② 利己 ③ 利己 ④ 利他 ⑤ 利己

問二 企業が社会的貢献に注力しているということアピールしているのを見ると、社会的貢献は、企業のイメージアップのために行っているだけで、利己的な行為にすぎないと思うということ。

問三 難病を抱えている頭木さんは食べられないものを勧められることが命を危険にさらすように強要されているように感じるため、拒絶せざるを得ない。しかし、相手は自分の思いを受け入れてもらいたいという「利己」的な思いをより一層強め、頭木さんにその思いを強引に押し付けてくるので、追いつめられるような恐ろしさを感ずるとのこと。

問四 贈り物をもたらった側が、十分な返礼ができないでいると、両者の間には「負債感」に基づく優劣関係が生じ、徐々に上下関係ができ、送り主が相手を支配することにもつながるとのこと。

問五 認知症の人たちに「何もしないこと」を強要するのではなく、失敗に寛容な環境を用意したうえで、個人が持っている能力を引き出し、主体性が喚起されるようにすることで、尊厳をもって生きることにつなげていくことを大切にしているということ。

問六 「与え手」の側は、その行為が利他的か否かを決定することはできない。いくら相手のことを思っただけでも、受け手にとってネガティブな行為であれば、それは「利他」とは言えず、その行為が感謝の対象となっはじめて「利他」が成立するということ。

□

- ① 順延 ② 風紀 ③ 辞さない ④ 拝む
⑤ 郵送 ⑥ 乳歯 ⑦ 息災 ⑧ 宝庫

上記の解答は、弊社が作成致しました。